

知性を磨きたいなら、キャバクラよりはクラブに行つて、百戦錬磨のママやホステスさんたちにおもしろいと思われるような会話ができるようにしなければなりません。

といつても、全方位的に何でも知っている必要はありません。他の人には真似ができない、自分の得意な分野があれば、みんなが知っているようなことを知らなくても、そこは愛嬌と思つてもらえます。

大橋巨泉がMCをしていた『クイズダービー』（TBS、76〜92年）のレギュラー回答者だったフランス文学者の篠沢秀夫教授（学習院大学名誉教授）は、自分の専門分野しか勉強していないのか、回答率が低かったことで話題になりました。そのため、巨泉が設定するオッズ（倍率）はいつも高配当でした。

でも篠沢教授が知らないと恥ずかしいことではありません。専門分野に関しては当然詳しいので、尊敬はされても、バカにされることはありません。というか、そこを楽しむ番組だったので。

場末のスナックでも、知的なママがやっているお店があるものです。そういう店では、下ネタを連発するようなお客さんよりは、知的な会話がサラリとできる人のほうがモテるでしょう。